

令和元年度「みやぎきの教育に関する調査」集計結果の概要について

令和2年3月27日
教育庁教育政策課

1 調査目的

「宮崎県教育振興基本計画」の推進に関して、県教育委員会の施策及びその推進のあり方の改善を図るために、学校、家庭、地域、児童・生徒、教職員の現状や意識を把握する。

2 調査について

(1) 調査対象等

調査種類	調査対象	回答者数
学校向け	全ての市町村立幼稚園、小・中学校及び、県立中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校	421校
家庭向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の保護者（1校あたり3人程度）	1,212名
地域向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の地域住民（1校あたり3人程度） ※ 県立中学校は附属する高等学校を含む	1,232名
児童・生徒向け (抽出調査)	抽出校（52校）の小学校5年生・特別支援学校小学部5年生（1校あたり1クラス）	1,214名
	抽出校（46校）の中学校2年生・特別支援学校中等部2年生（1校あたり1クラス）	1,192名
	抽出校（37校）の高等学校2年生・特別支援学校高等部2年生（1校あたり1クラス）	1,133名
教職員向け (抽出調査)	学校向け調査対象校（幼稚園を除く）の教職員（1校あたり4人程度）	1,342名

(2) 調査方法

- ・ 学校に調査用紙を送付して実施
- ・ 家庭、地域、児童・生徒、教職員には学校が依頼して実施

(3) 調査期間

令和元年12月11日～令和2年1月30日

3 調査の概要

(1) 学校向け調査について

- 問6 学力向上について、県教育委員会が推進している「4つのチェックポイント」を活用した授業改善の取組を行っている学校が小・中学校共に100%となった。
- 問25 ICTの活用など情報教育に関する校内研修を実施し、授業に役立てていると回答した学校の割合は80.2%（前年度74.1%）で6.1ポイント上昇した。
- 問31 定期的にまたは、必要に応じて、学校安全計画・危機管理マニュアルの見直しを行っている学校の割合は100%（前年度97.1%）で2.9ポイント上昇した。

(2) 家庭向け調査について

- 問1 県教育委員会の広報番組の視聴経験について「みらい・みやぎき・まなび隊」は91.1%（前年度79.4%）で11.7ポイント上昇、「のびよ！みやぎきっ子」は83.8%（前年度72.5%）で11.3ポイント上昇となっている。
- 問3 子どもの生活習慣づくりの取組（早寝・早起き・朝ごはん）を通して、子どもとの会話が増えたり、子どもが規則正しく生活できていると感じる保護者の割合は94.8%（昨年度93.2%）で1.6ポイント上昇している。

問12 家庭が担うべき役割として回答された割合が上位の項目

※複数回答

項目	割合
基本的なルールやマナーを身につけること	95.2%
あいさつ、言葉づかい、礼節など日常生活習慣を身につけること	95.2%
物を大切にする心や望ましい金銭感覚の育成	90.1%

(3) 地域向け調査について

- 問1 県教育委員会の広報番組の視聴経験について「みらい・みやぎき・まなび隊」は92.1%（前年度81.7%）で10.4ポイント上昇、「のびよ！みやぎきっ子」は71.4%（前年度62.6%）で8.8ポイント上昇となっている。
- 問5 県では家庭教育の支援に取り組んでいますが、家庭教育は保護者がその役割を果たすとともに、地域住民や学校等にも家庭教育を支える役割があることを知っている」と答えた地域住民の割合88.8%（前年度86.0%）で2.8ポイント上昇している。
- 問9 あなたの地域の学校では、地域の意見も取り入れながら、地域と一緒に子どもを育てるための取組を進めているかという問いで、取り組んでいる・ある程度取り組んでいる」と回答した地域住民の割合は、91.4%（前年度90.6%）で0.8ポイント上昇している。

(4) 児童・生徒向け調査について

- 問8 宮崎県や自分の住んでいる市町村など、ふるさとが好きであると答えた児童・生徒の割合（「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」の合計）は、小・中・高全体で89.3%（前年89.6%）で、前年度より0.3ポイント下降した。校種別では、小学生94.0%（前年度92.8%）、中学生87.1%（前年度88.6%）、高校生86.6%（前年度87.4%）となり、小学校は前年度に比べて上昇した。
- 問12 ふるさとに貢献したいと考える児童生徒の割合（「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」の合計）は、小・中・高全体で63.1%で、校種別では小学生77.1%、中学生58.5%、高校生53.1%であり、小学生と高校生では24ポイントも開きがある。
（令和元年度調査からの設問）
- 問13 コンピュータやスマートフォンを使うときルールやマナーを守っていると答えた児童・生徒の割合（「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」の合計）は、小・中・高全体で97.3%で、小学生98.0%（前年度96.2%）、中学生96.4%（前年度96.9%）、高校生97.4%（前年度87.4%）となり、高い水準を示している。

(5) 教職員向け調査について

- 問1 教師の資質や姿勢で特に大事だと思うと回答された割合が上位の項目

※複数回答

項目	割合
子どものよい面を伸ばし、やる気を出させる	72.4%
よくわかる教え方をする	52.1%
悪いことをしたらきちんと叱る	50.8%

- 問2 仕事上の不安や悩みについて、回答された割合が上位の項目 ※複数回答

項目	割合
日々の仕事の量について	37.3%
授業以外の校務について	35.5%
教員としての将来	28.1%

- 問5 働きやすい環境づくりに関する学校での取組は進んでいると答えた教職員の割合（「よく取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」の合計）は82.7%（前年度で84.4%）で1.7ポイント下降している。しかし、よく進んでいると答えた割合だけ見ると、前年度より3.1ポイント上昇している。